



この時期の風物詩。利用者様にご協力して頂き「しめ縄作り」を行いました。最初は「久しぶりでできないよ」、「手が効かないから…」と仰っていた方もいざ始めると「ここを押さえて捻っていくんだよ」と職員に手ほどきをされていました。皆さん、立派なしめ縄を見て「来年も健康で過ごせますように」と誓いを新たにしていました。

■ 居宅いづみインフォメーション

本年2月1日(木)になめがわ地域福祉支援センターがオープン致します。それに伴い、居宅いづみも移転致します。

■ 移転先は下記のとおりです。

住所：滑川町羽尾 1041-7

電話：0493-57-2226

FAX：0493-57-2227

※電話番号・FAX番号に変更はございません

■ 1月の趣味の教室

- 書道教室【大倉 佳子先生】  
1月15日(月)  
2階 13時30分～
- 折紙教室【田中 三枝子先生】  
1月10日(水)  
2階 13時30分～
- 詩吟教室【佐藤 譲先生】  
1月24日(水)  
2階 13時30分～
- 編物教室【梶谷 和子先生】  
1月16日(火)  
1月30日(火)  
2階 13時30分～

■ 1月の行事予定

- 1月29日(月)  
劇団「花みずき」の皆様による時代劇  
2階 機能訓練室 13時30分～

■ ボランティア募集

当施設では各種ボランティアを募集しております。ジャンルは問いません。但し充足しているジャンルの場合や当施設の方針にそぐわない場合、必ずしもお受け出来ない場合もございます。まずは下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL：0493-56-6123

担当者：鈴木 恵美子

■ 1月の定例催し物

- 音楽会【宮岡 久美子様】  
1月10日(水) 10時40分～ 3階
- 朗読【関根 洋子様】【高橋 政子様】  
【小川 かつ江様】【木村 房子様】  
【あすなる様】  
1月 9日(火) 15時30分～ 3階  
1月18日(木) 15時30分～ 2階  
1月23日(火) 15時30分～ 2階  
1月25日(木) 10時40分～ 2階

手芸作品  
「折紙で作った傘」



■ 編集後記

明けましておめでとうございます。今年も皆様に愛される紙面作りを心掛けて参ります。

編集責任者 金子 弘幸



[http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/about/pr\\_magazine.html](http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/about/pr_magazine.html)

いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター

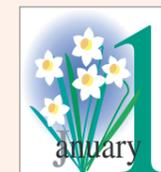


〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873  
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

巻頭言

「冬来たりなば春遠からじ」

入所課 係長  
吉澤 完志



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年も良い事、悪い事、楽しい事、辛い事等、色々な事がありました。「冬来たりなば春遠からじ」。辛い事が続く時にはいつもこの言葉を思い出します。また「禍福はあざなえる縄の如し」という言葉もあります。“良い事も悪い事もあっての人生なのだ”と。幕末の儒学者、佐藤一斎の『言志四録』にも「海水に小潮有り大潮あるが如く、天地間大抵、数を逃るる能わず。則ち活易なり。」とあります。海が大小の波を起こすことで水が滞留せずに綺麗な海でいられるように、人生も大小様々な幸不幸があつてこそ活力のあふれるものになるのだと……。私が感じる幸も不幸もみな先人たちが乗り越えてきた道であり、その先に何があるかは既に答えが出ていると言う事でしょう。これだけ多くの言葉が遺されている以上、間違いなく“明けない夜はない”のだと思います。

私は他施設の人達と情報交換を行なう場に出席させて頂く事があります。各施設の色々な取り組みを伺い、我々もまだまだである事を気付かされたり、自施設の良さを改めて実感する非常に良い機会となっています。そうした折に必ず出るのは「介護人材不足」という言葉です。ITやロボットの技術を介護機器に応用した開発も進み、光明が射す兆しもあります。しかし飽くまで介護とは「対人援助行為」であり、どんなに優れた機器が生まれたとしても、人を想う心がそこに存在しなければ成り立たない事を肝に銘じなければなりません。

先日、利用者様と旅行の話で盛り上がりました。皆様其々に思い出の場所があり、「また行きたいなあ・・・」と。旅の思い出を語る利用者様は一様に生き活きとされ、キラキラと輝いていました。そんな中、私の家族旅行の計画を利用者様にお話ししました。そして「旅行に行きたくても今となっては行けない」と仰る皆様に申し訳なく思い、率直にその旨を伝えました。すると「私達はまだ十分思い出を作ってきたのよ。だから思い出話ができるんじゃない。これからは貴方達の番でしょ！」と笑顔で返して下さいました。やはり年輪を重ねた人生の達人は懐が深く、私は感謝と尊敬の念に包まれました。今年も利用者様に教えを頂きながら、職員一同精進して参りたいと思ひます。

春はもう目の前です。

## 施設の行事

### ■滑川町文化祭



11月1日(水)、2日(木)に亘り今年も文化祭見学に行きまして参りました。

日頃、お話しする機会がなかった利用者様同志が、趣味活動のお話に花が咲き、お互いの作品を褒め合う微笑ましい光景がありました。皆様、様々な作品を前に、目を輝かせていたのが印象的でした。

### ■いもこ汁作り



3階1番館では利用者様と一緒にいもこ汁を作りました。じゃがいもを潰して片栗粉を入れ、丸く形を整えました。沢山の種類の野菜を入れたので、とても美味しく出来上がりました。会話にも花が咲き、心も体も暖まりました。

### ■琴伝流スイートピーの皆様による

#### 大正琴の演奏会



今年のボランティアさんの締め括りは琴伝流スイートピーの皆様です。

クリスマスの衣装で、クリスマスソングから演歌まで、バラエティーに富んだ曲を演奏してくださいました。音楽に合わせて、皆様楽しそうに合唱しました。

### ■避難訓練



12月に避難訓練を行いました。避難完了後、消火訓練も行い、消火器の使用方を再確認しました。ご参加頂き有難うございました。

乾燥している日が続いておりますので、火の元には十分お気を付け下さい。

## 居宅いづみ「介護サロン」

今年度第2回目となる介護サロンを行いました。今回のテーマは「体操」として介護予防運動指導者の二渡弓美子氏をお招きし「介護予防体操」を行いました。歌を唄いながら楽しい体操や、体全体を使って文字を書く運動等を行いました。また脳トレや口腔機能体操も実施し、さわやかな汗を流しました。



介護予防体操の様子

## 入所忘年会

12月23日(土)に入所忘年会を開催しました。毎年恒例となっている忘年会ですが、今年は「紅白歌合戦」を行いました。利用者様だけでなく、職員による歌や余興の披露もありました。紅組と白組を合わせて20曲を超える歌合戦でしたが、結果は「紅組」が勝ちました。白組も素晴らしかったです。紅組の皆さんおめでとうございます。最後は会場全体で「ふるさと」を合唱し、感動されて涙を流す利用者様もいらっしゃいました。一年の締め括りとなった忘年会は大成功で幕を閉じました。



開始前の意気込みの様子



女性職員による一夜限りのアイドルユニット



実祖母の隣で「孫」を唄う孫(職員)



利用者様同士のデュエット



男性職員によるスーダラ節



昔の音楽番組を彷彿とさせる司会者の二人

## 通所忘年会

12月15日(金)と16日(土)の二日間で皆様に日頃の感謝の気持ちを込めて通所忘年会を行いました。

今回の余興は2部構成で事務課、リハビリテーション課によるハンドベルの演奏と通所課職員によるオヨネーズの「麦畑2」を披露しました。感動有り、笑い有りの余興に利用者様から「とても楽しかった」と沢山の嬉しい言葉を頂戴しました。



ハンドベルの演奏会



オヨネーズ「麦畑2」

## 新しい浴室が完成致しました

昨年の8月から約5か月間に亘り、2階及び3階の浴室改修工事を行い、此の度完成致しました。利用者様からは「ゆったり入浴が出来て気持ちが良いわ」と好評を頂いております。

